

あなたの英語の語彙力を増すには？

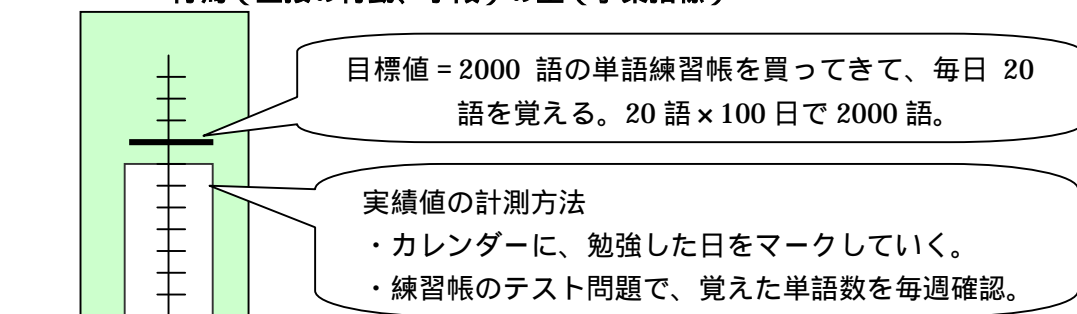
行政評価に「成果指標」と「事業指標」という概念がある。

成果指標は、「アウトカム」を計測するものだ。行政のすることについて、「何を、どれだけするので、それによる成果は、この部分にこれくらい現れる」ということを先に設定して、事後にそのとおりになったかどうかを確かめる。成果を設定した筋道と事後に成果を計測した結果、2時点での内容を説明するのが説明責任だろう。

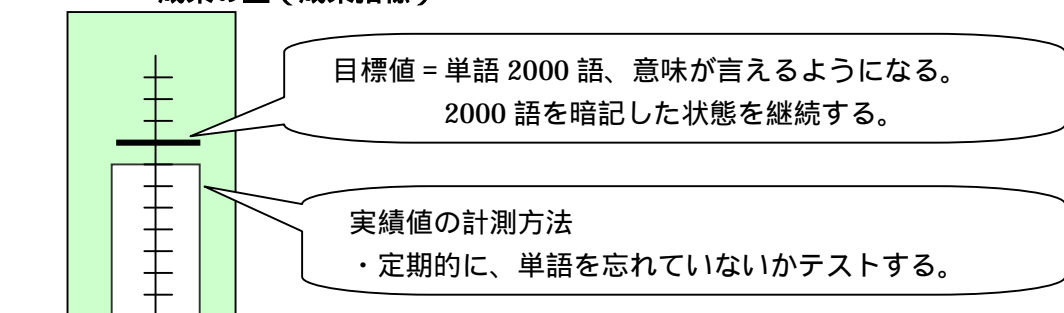
事業指標と言うのは、「とにかくこれだけやりました」と言う、やった量のこと。それにいくらかお金をかけたかが分かると、金銭的に賢く仕事をしたか無駄が多かったかの判断ができる。

ところで、成果を事前に設定すること（成果目標設定）は重要であり、不可欠なことであるが、それがなかなか難しい。アウトカムのつもりが、ついついアウトプットになってしまう。「あなたの英語の語彙を増やすために、あなたは何をしますか」を練習課題として、ある自治体の職員に成果指標と事業指標を設定してもらい、その計測方法も考えてもらった。皆さんもやってみてください。次のような記述が結構あるのではないのでしょうか？

行為（直接の行動、手段）の量（事業指標）



成果の量（成果指標）



「2000 語を覚えている」は、事業指標の範疇だろう。やはり、成果の部分では、「TOEIC で 800 点取る。TOEIC テストを受ける。」「外国人と話ができるようになる。一人で外国旅行してみる。」というような記述が欲しい。成果を設定することは意外と難しい。それを数値で表現することは、もっと難しい。「外国人と話せる」ことをどうすれば数値化できるかという問題だ。

さらに、「次の TOEIC テストで 800 点取る。その目標は、単語 2000 語、20 語 × 100 日で達成できますか？」と問うてみる。・・・はたと困る。事業と成果を連動させていないので説明できないことが多い。住民は、その説明がないこと、あっても筋が通らないことが嫌でたまらない。